

# マイケル J ローズ ニュースレター 2013年 秋号



こんにちは。

お元気ですか？庭の金木犀が少し咲き始めました。大好きな秋の香りです。

マイケルに出会ってからもう15年になります。振り返って見ると、私の人生は、豊かに、愛にあふれたものに、不思議に満ちたものになっています。

でも..でも、です..ことセミナーに関しては、雑念が..心配が湧いてきます。それでも手放し方を知っています。湧いてくるたびに、起きてくる結果に関わらず、すべて OK だと..「信頼」へと気持を切り替えます。私への信頼、人生への信頼のエネルギーを培うとてもよい機会となっています。

マイケルとキャロリンの来日がもうすぐです！

無条件の愛のエネルギーに、無条件の信頼のエネルギーに、より広い世界に、より広い真理に触れていただけますように♪

自分の素晴らしさに、生命・人生の素晴らしさに、自分の人生の創造主であることに、本当の自分は、永遠であることに..ハートは、きっと喜びにあふれると思います。

オーストラリアのインテンシブを参加者として満喫させてもらったので、京都では、こころをこめて皆さんが気持ちよく安心して参加できるよう..そこに、焦点をあてたいと思っています。愛をこめて、よろしく願います。

秋の空が、秋の雲が、秋の風が大好きです。

Choose Love で素敵な秋の日々を♪

たくさん愛をこめて やすみ

## 10月マイケルセミナーのご案内

2013年 10月 5・6日 週末セミナー（京都私学会館） ¥38,000

2013年 10月 10日~14日 インテンシブセミナー（コープイン京都） ¥87,000

無条件の愛のエネルギーの中で、ありのままの自分の素晴らしさを体験するマイケルのセミナー。ぜひご参加ください。

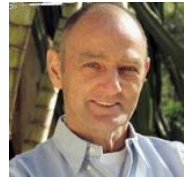
詳しくは HP へ <http://michaelroadsjapan.com>

## 新刊のご案内

マイケル J.ローズ著「愛の目を通してブック 3 次元シフトのとき」が、ナチュラルスピリット社から出版されました。秋の夜長を楽しんでいただけますように。

# マイケルのお話

by マイケル



2013年の後半も半ば近くなり、キャロリンは、すでに2015年の旅の予定を立てています。2015年のです…2014年は、もういっぱいです。今年、各国でセミナーを主催してくれた人たちに、旅先でお世話になった人たちに、皆さんに、心からの感謝をおくります。

昨年夏の記録的な雨の後には、早魃に戻ったようです。オーストラリアの気候は極端です。早魃と洪水の繰り返し…それでも、この地が好きです。

鶏の観察は、興味が尽きません。我が家には、大きなサーモン・ファブロール種が2羽います。フランスの品種です。私たちは、その2羽を、レディーズと呼んでいます。そして、4羽のISA ブラウン種も…すごいチームです。ナポレオンという名のロードアイランドレッド種の雄は、日の出とともに時を告げます。最後は、保護のためにトレーシーが家に連れてきたヘニーペニーとう名前の鶏です。

先日、鶏達が、騒いでいるので見に行くと、鶏の囲いのなかに2mほどのオオトカゲがいました。彼を追いたてようとする、逃げるところか、私のほうへ振り向きまわりました。しばらくお互いの目と目があつたまま…彼はシューとうなり、私はといえば、賞賛の言葉を呟いていました。

彼は、鱗におおわれた尾で2回ほど、私の足を打ちました。とても美しい色で…おそらく、この地でレーストカゲは、100万年ほど、進化を遂げてきたのでしょう。トカゲの言葉でうなる彼に、私は、出て行くよう穏やかに説得しました。

これが、「田舎で暮らす」であり、愛していることです。次に何が起きるのか決してわかりませんが、また、何が姿を現すのかも…人々は別です。

人々はといえば、人々の問題には、決して終わりがありません。あるいは、人生の問題を抱える人に終わりがありません。あるいはよいかもしれません。問題がないときでも、良いことが長く続かないことを心配する人々もいます。そんな…と思うかもしれませんが、ビル・ベイリーの話しをしましょう。私が、タズマニアで農夫をしていた頃のことです。

ある朝、ビルは、車で私たちに会いにきました。とてもふさぎこんだ様子でした。「どうしたんだ？ビル」と尋ねると、取り乱した表情をしながら「いや、まったく問題ないよ」と答えたので、「そんなふうには見えないけど」と尋ねると、「うーん…いつも何か心配することがあるのに、問題を見つけられなくて。何か悪いことが起きていると思うのに、それが何かわからないから心配なのだ」

「つまり、何も心配することがないから心配だって？」彼は頷いて言いました。「それが、問題だ。まったく」

彼は、たくさんの人もそうですが、人生すべてを潜在意識から生きていました。彼と妻が、イギリスからオーストラリアへ移住した時でさえ、環境以外は何も変わりませんでした。

人々は住む家や国を変えたら、人生を変えたと思います。間違いです。住むところを変えただけです。意識して生きるために住む場所を変える必要はありません。意識における変化が必要なだけです。

どうして人々は、いつも心配するのでしょうか？それでは、事態を悪くするだけです。私もそうでした。49歳までの人生は、心配ばかりしていて、その結果は、病気の悪化でした。

それから、私は、意識を変え、心配するのを止めました。本当です。今では、心配がどんな感じだったのかさえ忘れませんでした。心配は、潜在意識のプログラムの大部分を占めます。そして、そのプログラムと戦うことはできません。

しかし、意識して生きるとよりよい選択をすることができます。よく引用する言葉があります。「心配は、それがやってくる前に支払われるトラブルの利子である」と。誰が思いついたのか知りませんが、叡智ある言葉です。

人々は、「心配してあたりまえ」と思っているようですが、違います。心配は、やがて人を病気にしてしまいます。私は、電話でカウンセリングをしています。問題を、状況を聞いている時、人々は、「とても心配です。不安です」を何度も繰り返します。多くの場合、その心配を取り除くことができると、問題はなくなります。その解決法は、とても明白です。問題に面と向きあい、対処することです。

たくさんの人が不愉快な現実と直面し解決するよりも、心配するだけで何もしません。心配は無意味です。心配しても何の解決にもなりません。問題と直面するほうがはるかに良いことです。愛を選択し、問題解決にあたりましょう。

愛と光の中で マイケル

## ご挨拶 by キャロリン



まず、私たちのセミナーを準備して下さるローズチーム(Team Roads)の主催者や友人の皆さんに心からの感謝をおくりします。私たちの目的と、情熱は、できるだけたくさんの人々のハートに触れることです。あなたたちのサポートのおかげでできているセミナーツアーです。そして、今年、参加して下さった皆さんにも感謝いたします。

「私のガイドがセミナーに参加しないほうが良いと」・・・と言う人がときどきいます。そのことを考えてみました。5日間、スピリチュアルに目覚めた人と共に過ごす、それがよくない？

たとえ、マイケルが5日間、一言も話さなくても、彼のエネルギーフィールドにいただけでもプラスになるでしょう・・・愛がありすぎて傷ついた人はいません！よきガイドなら、すぐにセミナーに送り出します。

私たちの人生の本当の目的は何でしょう？際限のない習慣に、単調な日常に気を囚われることでしょうか？手に入れたもののために身を粉にして働くことでしょうか？他人からどう思われているかを心配することですか？また、感情的な空洞を、外から埋めようとするのでしょうか？

勿論、違います。私たちの目的は、意識の存在として、自分自身に十分気づいていることです。それは、愛を通してやってきます。自分が創造主であることを忘れないために、創造主と再びつながるために、自分の偉大さを受け入れ、スピリチュアルに目覚めている人々と交わりましょう。完全に目覚めた人と、共に過ごすことは、賢明なことです。

あなたのガイドが、私たちのセミナーやスピリチュアルに目覚めた人のセミナーへの参加を支持しないなら、あなたがパワーをあげようとしているガイドが、一体何なのか見極めるようお奨めします。誰が、何が、あなたの人生の映画を上映しているのか・・・と。

あなたのいうガイドとは、おそらく恐れが根っこにあるエゴ・アイデンティティです。エゴ・アイデンティティは、長年に及ぶ支配を放棄しようとするにはめったにありません。しかし、革命的な変化が起きています。私たちのような生き方をする人の数は、まだ少ないけれど、私たちは、日々、目覚しく成長しています。

この変化を目の当たりにするのは、とてもワクワクすることです・・・長い間、私たちを閉じ込めていた幻想から目覚めようとしているのですから。

私たちは、決して消えることのない光です。決して閉じられることのない愛と真実の通路です。忘れてしまった・・としても、決して失うことはありません。

私たちのハートは、この現実を決して、見捨てたりしません・・  
だから、マイケルと私は、いつも、いつも、愛を選ぶようにといい続けるでしょう！

輝く愛と光のなかで キャロリン

## 質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身より深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問: 私は 34 才、3人の子どもの母親であり、精神療法医です。相談者に向うときは、彼等の抱える問題が何であるのか素早く読み取り、愛と癒しのエネルギーを与えられます。しかし、14 才のときから、大きな問題を抱えています。死後の生命を信じることができません。できることなら、信じたいのです。たくさんの本を読み、ヨーガや、よく似たエクササイズをしていますが、病気や、死への恐れは消えません。死後に生命は確かにあるのでしょうか？教えてください。

**洞察:** 気持はよくわかりますが、あなたの恐れは自分で作り出したもので、あなたにしか手放せません。死後の生命があるかどうか尋ねていますが、死、そのものはありません。死は人類が作り出した最大の幻想です。毛虫は、さなぎになり、さなぎは蝶になります。蝶になったとき、さなぎは、死んだのでしょうか、それとも、変容したと？死んでしまったのか、移行を経験したのか、どちらでしょう。毛虫は、意識に飛行の現実をもって生まれますが、飛べません。つまり、毛虫は、変容、移行を経験したのです。

あなたは、魂をもつ限りある肉体・個性ではなく、あなたは、一時的に肉体・個性をもつ不滅の魂です。このため、肉体は、私たちが移行すると、なくなります。不滅の魂は、意識へと飛行を続けます。死は、無知と条件付けからくる信念です。自然の何ものも死と関係がありません。

彼等は、瞬間の人生・生命を生きます。あなたが、ハートから生きるなら、瞬間の人生・生命があなたの現実となるでしょう。どんなに人々を助けようと、あなたは、頭から生きています。すべての恐れを作り出すのは、左脳です。知識重視の左脳には、ハートの叡智と良い関係は作れません。

私たちは、病気を作り出します。病気は、外からやってくるものではなく、幻想と共に生きることから病気となります。恐れは、磁石です。あなたが、病気を恐れるなら、やがて病気を引き寄せるでしょう。信念がほしいなら、あなたは、素晴らしいメタフィジカルな多次元の不滅の愛と光の存在であることを信じるようにしなさい。これは、素晴らしい信念であり、絶対的な真実です。

死後があるかどうかの質問ですが・・私たちが人生と呼ぶ幻想と恐れのかの間の人生・・・それは、人生ではなく幻想です。私は、自分が不滅であると知っています。勿論です。前妻のトリーニーが亡くなって(移行)から1年間、彼女は、私を支えるために、私と対話し続けました。あなたの中から死という言葉、なくしてしまいましょ

う。トリーニーとの対話は、私の夢だったと？いいえ、私は、偽りを書いたりしません。死への信念、偽りの信念からの解放について書きました。

あなたは、14歳だった自分に固執しています。そのとき、何が起きたにしろ、手放すときです。あなたは誤解しています。神は、永遠の生命を作りました。私たちが、死という偽り・幻想を作ったのです。手放しましょう。愛の選択です！

**質問:** 何年も一緒に暮らした後で、結婚するカップルがいます。共に暮らし、子どもも生れ・・・はためからは、何も変化していないように見えます。しかし、そこには、異なるレベルでのシフトがあるようです。シフトは、触媒となります。そのため、時々、別れることもあります。しかし、シフトによって、鉢植えに隣りあわせで育っていた植物が、今では、同じ地面に育っているようなカップルもいます。

婚姻の署名は、神秘と不思議なる次元の特別なエネルギーをもたらすように思います。証人の前での公的な誓約は、確かな重みがあり、通過儀礼であり、一線を超えるものです—おそらく、一体感を持つためです。法的ではなく、スピリチュアルにより強い連帯感をもつのではと思います。こういったことをメタフィジカルに観察したことがありますか？

**洞察:** 法的な結婚が、必ずしも、魂の結婚とはなりません。それは、どちらかといえば、魂を信じない二人の間の結婚式です。また、多くのカップルのどちらかが、あるいは、二人ともが、法的な結婚に踏み切るのを恐れ、ためらい、そのため、ただ一緒に暮らす場合もあります。

勿論、問題ありません。カップルのあり方は、それぞれに異なります。場合によっては、気づかないまま、魂レベルでお互いに誓い合っているカップルがいます。言葉の誓いではなく、より高いエネルギーレベルでの誓いをしているのです。

この組み合わせは、ただ法的な結婚をしている人たちよりも、より深く結びついています。結婚式が、結婚を意味するわけではありません。法的結婚は、魂の結びつきのはずですが、どんなに素晴らしい言葉の誓いであっても、エネルギー的につながりのないカップルは、結びつくことができません。

同様に、結婚式が、喜びあふれる魂のエネルギーによる結びつきである場合もよくあります。すべては、カップル次第、彼等の意識の状態によります。

エネルギーのつながりがあるカップルのなかには、何年もたってから結婚式を上げ・・・それでも上手く行かない場合があります。その理由は、たくさんあり、さまざまであると思います。

契約によって法的な束縛を受けることに、潜在的恐れをもつ人たちがいます。もし、カップルのどちらかに、その恐れがあると、結婚は、困難となり、別れることになるでしょう。また、結婚で、パートナーシップがさらに深まる場合もあります。そういったカップルは、魂レベルでエネルギー的につながっているのです。法的結婚によって、より深いつながりを感じるでしょう。

**質問:** 時間の経過は、進化の過程で、変わりますか？あるいは、すべて認識の仕方、受け止め方次第ですか？

**洞察:** 地球の進化や、自然の進化についてではなく、人間の進化についてですね？生命とは、形の進化ではなく、意識の進化についてです。これは、人類も同じです。

私たちは、物質的であり、メタフィジカルです。物質的存在として、物質的自然と同様に、直線の時間を経験しています。何千年も前から、今日に至るまで、直線の時間の経過の有り様は、変化していません・・・が、私たちの時間の経験は、確かに変化しています。

あなたがいうように、時間の認識の仕方は、多様です。子どもと大人は、時間の認識が大きく違います。個人々によっても違います。心急ぐ人にとって、時間は、はやく過ぎ去ると感じ、こころ静かな人は、いつもたくさん時間があると感じているでしょう。私もその1人だと思います。時間と私は、仲のよい友人です！

近年、時間の経過がはやくなっていると感じる人が増えています。時計を見ると、同じ速さで動いているのに。しかし、私たちは、内なる周波数が強まる時代に入っているのです。この強まる周波数が、私たちの時間の認識を変えるのです。内なる周波数が増加すると、左脳は、周波数の変化を直線の時間のスピードアップのように感じるので。

肉体を超えたメタフィジカルな存在にとって、直線の時間は意味がなく、それは永続する現実でもありません。すべての時間は、同じ瞬間にあります。私は、それを球状の時間と呼んでいます。そこに時間の経過はありません。私たちは、メタフィジカルな存在です。時間を超え、幻想を超えて存在し続けます。私たちは不滅の魂です。不滅の魂は、直線の時間となんら関係ありません。

直線の時間と関わりがあるのは、有限の肉体・個性であり、直線の時間によって、私たちは、「原因と結果」や「二極性」から、たくさんの学びをしています。

5次元現実には達すると、人々の時間との関係は、3次元と大きく異なります。3次元では、時間の波・経過が、人々に深く刻み込まれていますが、5次元現実とは違います。5次元では、人々や、自然の老化がとても緩やかです。なぜなら、人々は、この瞬間に生きています。生命の真理を知っています。不滅の魂であり、愛と光の存在であることを。生命が一つであることを。

つまり、私たち自身が作り出す時間への認識が、人生の長さの物差しとなっているのです。100才をととも長寿と信じるなら・・・その現実を作り出します。200才が丁度良い寿命と、人類がずっと信じていたとしたら、その現実を作り出していたでしょう。

質問: パートナーと私は、今、テレビ番組「フリンジ」を見ています。その番組で、パラレルワールド・平衡宇宙についても述べています。リチャード・バックの「かもめのジョナサン」と同じ仮定に従っています。この現実で選択されなかったそれぞれの選択は、別の現実、パラレルワールドを作り出すと。その理論からは、私(肉体と個性)は、一つ以上の現実中存在することになります。そういった現実を観察するより高い私がいいますか？

もしそうであるなら、それは、魂ですか？私の魂を通して、経験から学ぶために、それらの現実にはアクセスは可能ですか？夢の中で、そうすることができるのは知っていますが、この現実では、エネルギーがあまりにも重過ぎて・・・たとえば、即時の現実化はできません。他の現実では、違いますか？

**洞察:**あなたが述べる「より高い私」とは、魂であり、それは生命の根源であるセルフ(the oversoul Self)です。すべての生命は同じ瞬間を占めています。本当のあなたである魂の成長を観察しているセルフがあります(とても遠く、でも、今、ここで)。

左脳を働かせないでください！あなたがすでに達している未来へと成長していくとき、セルフは、あなたの痛みや困難に決して干渉することなくあなたの進歩を監督することを意味します。

パラレルワールドの経験から学ぶために、他の現実にはアクセス出来るかどうかですが、あなたに、その必要はありません。なぜなら、あなたは、肉体をもち、あなたが関わる人生を生きており、その人生こそ、魂の成長にとって最高の可能性を秘めているからです。

私は、確かに、そういった他の現実にもアクセスします。これは、私の人生の道です・・・始めは、不本意でしたが、それは過去のことになりました。今、私は、私の人生の道を、喜びとしています。

不思議は、すべての現実にあります。たとえば「自分の人生を創造できる」、それは真の不思議です。しかし、大多数の現実には囚われることなく、自分自身の現実を創造できる人はあまりいません。また、不思議はこの瞬間にしか見いだせませんが、殆どの人は、この瞬間にいないといえます。

確かに、あなたのいうとおり、この現実のエネルギーはとても重たく、より高いエネルギーの不思議には不利な状態ですが、だからといって不思議の美の否定にはなりません。美は、不思議です。人々は、美を、私たちの外にあるものと考えますが、違います。美は、私たちの内にあり、私たちが作り、人生に映し出すものです。これこそ本当に素晴らしい不思議です。

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。

英語での質問はキャロリン宛: Carolyn@michaelroads.com  
日本語は、こちらへ: info@michaelroadsjapan.com

## オーストラリアのインテンシブ参加者からの手紙

マイケル、キャロリン、おはようございます。インテンシブの愛、笑い、悲しみ、そして、祝福された手放しに・・・心から感謝します。あなたの経験に基づくハートに触れる話に、私たちとのハートのつながりに、最高の愛に、あなたたちとの出会いに感謝します。

インテンシブが終わった水曜日、私は、家に戻るとすぐにベッドに向いました。いつもは、聞こえる着信音なども聞こえず、10時間死んだように眠りました。昨日の朝目覚めたとき、私は、癒され、すっきりしていました。今日一日、愛を選ぶことを、そして、私は素晴らしい多次元のメタフィジカルな愛と光の永遠なる存在であると意識しました。

これまでとまったく違う1日となりました！

私は、仕事を初めてからずっと仕事上の対立を抱えていました。私の仕事は、高齢者介護施設の収入を生み出すことです。施設に入居する人たちの状態を評価し、また、その後、状態が変化しているかどうかの評価をします。財政的支援は、その評価による必要性が基本になります。

私は、うまくやっていると思うのですが、経営者は、いつももっと多くの収入を望み、財源がいつも不足していると思いつ込んでいます。その結果、たえず衝突があります。私は、彼の資金の使い方を批判します。お金は、スタッフをもっと増やすために、あるいは、看護師のために使うべき・・・と私の物語は続きます。

私は、インテンシブの数日前に重症のリュウマチ性関節炎に苦しむ女性を評価しました。彼女は、私と同じ年齢でした。彼女がケアについて抱えるたくさんの問題と彼女の失望を聞きながら私もとても悲しくなりました。彼女の手は、ひどく不自由で、私も、泣いてしまいました。(私は、私たち2人がどれほど素晴らしいか考えもしなかったのです)

インテンシブ会場に着いた頃、私の両手は痛み、まるでリュウマチのように感じました。2日目に痛みは消えました。本当に消えたのかどうか確かではなかったのですが、マイケルは、癌で苦しむおばさんを看取った若い女性の話しをしてくれました。(彼女の焦点が癌にあったため、彼女自身も癌になってしまった話でした)

私の焦点が、痛み、悲しみ、苦しみにあったことに気づいたのです。私が焦点をあてていることを引き寄せているのです。何よりも、私が痛み、悲しみや苦しみと対立しても、何の手助けにもなっていません。私は、また、お金が十分ないことにも焦点をあてていました。

自分が、自分の現実を創っていることがよくわかったので、いま、とても自由を感じています。自分の現実を創っているのは自分だと…これまでも、わかっていたつもりですが、本当に分かっているレベルではありませんでした…上手くいかないことをやり続けてきたのですから。

今、私が自ら選ぶまで仕事をやめる必要はなく、私の考え方、仕事の仕方、人々との関わり方を変える必要があることを知っています。

私の生き方、関わり方を変える…とてもシンプルです。  
自分で難しくする時、難しくなるだけ…です。

昨日、私は、リウマチ性関節炎の女性に再び会いましたが、今回、私は彼女の素晴らしさを見ることができました。私たちふたりとも、苦しみを話したり、感じたりしなかった…私はそう思います。そして、良く笑いました！

ふたりに愛をこめて パット

## 意識のコラム by マイケル



前回、ローレンス・アンソニーと、リーダーの雌象のことを書きましたが、私はその話が大好きです。人と象の素晴らしいつながりについての実話です！

私たち人間同士は、なぜこういった深いつながりがもてないのでしょうか。ローレンスを繰り返し殺そうとした雌象のように、誰かが私たちが繰り返し殺そうとするなら、私たちは、その相手と親しくなりたいとは考えもしないし、刑務所へその人を訪ねることもないでしょう。その人を憎み、牢獄で朽ち果てればよいと願うでしょう。私たちは、人間に対してよりも動物に気づかいを示すのはなぜでしょう。

イギリスには、二つの大きな組織があります。英国王立動物虐待防止協会と全国児童虐待防止協会です。動物虐待防止協会のほうが、遺贈として、また、特別会員から、児童虐待防止協会より少なくとも10倍ほどの資金を得ています。この状態が何十年も続いているのです。

これは、動物への私たちの思いやりと、子どもに対する私たちの共感の欠乏を示しています。間違いとか、悪いという意味ではありませんが、これは、たしかに個人としての私たちと私たち自身の関係を反映しています。自分が好きではない、思いやりに欠ける、つまり、私たちは、私たち自身を愛(Love)していないのです。この自己愛の欠如が、子どもたちにも及んでいるのです。

私たちは、人類に対してとても冷笑的で、偏った見方をしています。自分が好きではないので人類が嫌いです。勿論、誰もがそうだといっているわけではありません。何百万という人々が、自分との、人生との素晴らしい関係にあり、人類への深い思いやりをもっています。しかし、何パーセントほどでしょう。せいぜい、10%か 15%です。十分な数ではありません。

今、地球上のメタフィジカルな自然は、私たちを見定めようとしています。私たちに、集合的な変化への準備ができているのでしょうか、あるいは、まだ変化に抵抗するのでしょうか。答えは、ええ、抵抗に固執する可能性が高いでしょう。

明確にしましょう。私たちに、自然という共通の言葉があります。ユニークな表現をしている自然。私は、いつも自然(Nature)を大文字で書きます。特に、自然の本質について書くときは。



大いなる自然は、地球上のすべての生命を創造し、統括しています。自然のパワーは、神なる叡智による至高の創造を含んでいるし、意識の進化を統制しています。物質的な生命は、この大いなる自然を反映したものにすぎません。私たちは、たまたま、ここにいるわけではありません。

私は、次のことを、よく似た言葉を使って繰り返し書いたり、話したりしてきましたが、もう一度、書きましょう。

「私たち人間は、これまで以上に潜在意識から生きています」・私たちにとってよくありません。聖書にイエスの言葉と思われる引用があります。「死者をして死者を葬らしめよ」とも厳しく、強い非難に感じて、私はよく悩みました。ここ数年、その意味と真実がこれまで以上に、明らかになりました。

愛と真理への、愛と真理に伴う変化への準備ができている意識的な人がたくさん増えています。真理はいつも真理ですが、その真理を積極的に受け入れるタイミングでない人にとっては、真理ではありません。そういう人たちにとって、より高い秩序の愛と真理は、無用のものであり、彼等は、愛と真理にたいして死んだも同然です。

良い悪いではなく、ただ、この千年ほどの生まれ変わりを通して、彼等の焦点は、スピリチュアルな成長にではなく、生存にありました。メディアの助けもあって、幻想を真理と信じる彼等は、幻想に自分自身を葬っているのです。そして、これが人生と信じています。集合的なマインドが織り成す幻想が真実に基づいていると信じています。彼等にとって、人生とは、生存です。そうでなければ、死です。

生存か、スピリチュアルな成長か・変に聞こえるかもしれませんが、それほどではありません。生存は、いつも恐れが基にあります。スピリチュアルな成長は、いつも、愛(Love)へ向きます。スピリチュアルな成長にいつも愛があるとはいえませんが、そのような人生の根っこには、愛があります。

そういう人生がもたらす選択の多くは、生存ではなく、愛です。これは、「生存は、身体に基があり、スピリチュアルな選択は、魂に基がある」ことを示すものです。愛への探求は、私たちが、身体・個性をもつ魂であり、その逆ではないことを示します。愛・真理が無用な人は、物質的人生だけを生き、物質的側面が焦点となります。こうして、物質的人生が彼等のもっぱらの創造となります・・・それでも、体をもつスピリチュアルな魂であることに変わりはありません。

私は、初期のキリスト教徒とライオンの物語についてよく考えたものです。その頃の敬虔なキリスト教徒は、競技場でライオンと向き合うか、神を非難するかを選択しなければなりません。よく考えたものです。「神様、今からあなたを非難しますが、本心ではありません。ライオンの内臓を通ることにどんな意味があるのですか？ライオンのおしっこになるだけでしょ。あなたを非難するけれど、本心ではないとあなたにはわかるでしょう？自由になったら、神の御名においてたくさん良い働きをしますから」

私がこの対話を思い描くとき、神はいつも同じ返答をしました。「息子よ、申し訳ないが、おまえの道が、おまえをライオンの内臓へと連れていくのだ。おまえが私に敬虔である限り、ライオンのおしっこになってもいいではないか」

そして、初期のキリスト教徒にとって、彼等のスピリチュアルな道は、身体の生存ではなく、神への愛と忠誠と信頼にあることを知っていました。このレベルの忠誠に、あなたはぞっとすると思いますが、私は、感銘を受けたものです。そして、元気付けられました。彼等がそのような結末に耐えたのだから、私も、運命の苦難を耐え忍ぶことができるだろうと。

長い間、私は、痛みと苦しみの道を歩きました。ライオンに食べられる痛みと苦しみは、数分で終わりますが、私は、20年間、それよりもはるかに多くの痛みと苦しみを経験しました。しかし、彼等への賞賛が、小さくなるものではありません。私の20年に及ぶ苦しみは、私自身の潜在意識から作られたものですが、彼等のひどい痛みは、英雄的なものであり、意識的な選択でした。

要するに・・・私たちは、選択しています。選択しないという潜在意識的な選択をしているか、あるいは、意識的な選択をしているか、です。

誰にも選択できる道は、不思議に満ちたシンプルでパワフルな道です。  
誰もが、無条件の、聖なる、無限の愛を選択できます。  
それは、無条件に自分自身を愛することから始まります。 愛をこめて マイケル

マイケル・J・ローズに関するお問い合わせ先: マイケルローズジャパン 大亀安美

TEL /FAX 0897-34-8914

URL: <http://www.michaelroadsjapan.com> e-mail: [info@michaelroadsjapan.com](mailto:info@michaelroadsjapan.com)